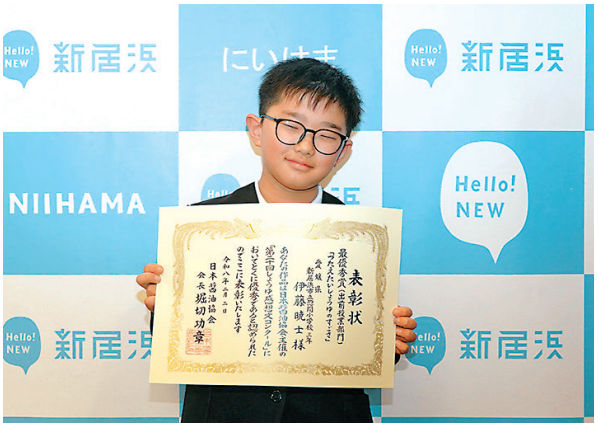
※記事内の学年や肩書は令和７年度のものになります。

発見!! まちのEAGER BEAVER

市ゆかりのイーガービーバー（熱心ながんばりやさん）を紹介します。



出前授業で教わったしょうゆのすごさを作文にした伊藤君

しょうゆもの知り出前授業の様子

しょうゆ感想文コンクールで最優秀賞

伊藤 暁士君（９）惣開小学校３年

「第 20 回しょうゆ感想文コンクール」（日本醤油協会主催）の出前授業部門で最優秀賞を受賞しました。

昨年 10 月、同協会の「しょうゆもの知り博士」に認定されている今井康広さん（今井醤油醸造所）の出前授業を受けました。給食で使われているしょうゆが市内で造られていること、約 300 種類の香り成分があること、製造段階ごとに味が変わることなど、これまで知らなかったしょうゆの奥深さを学びました。

作文は「つたえたいしょう油のすごさ」と題し、しょう油の効用やおいしさの秘密をつづりました。うま味を生み出す発酵には長い時間かかるとし、「みんなにおいしく食べてもらうために職人が努力していることを知った」と紹介。地域ごとに味や風味、造り方が違うことにも着目し、「ふるさとの味を大切に思いながら、しょう油を使ったりょう理を、残さず食べていきたい」と締めくくりました。

出前授業を通し、しょうゆへの理解が深まった伊藤さん。「旅行で県外に行ったときには、その地域のしょうゆが使われた料理を楽しみたい」と笑顔をのぞかせました。

ジャパンマイコンカーラリーで頂点に

鈴木 悠斗さん（18）令和８年３月新居浜工業高卒

高校生がプログラミングした自作の四輪ロボット（マイコンカー）で速さを競う「ジャパンマイコンカーラリー 2026」の上級クラスで、念願の全国優勝を果たしました。

マイコンカーは、車体に付いたセンサーでコースの白線を読み取り、選手が作成したプログラムで制御しながら自動運転するロボットです。

全国大会出場は２回目。昨年はベスト８でしたが、「悔しかった。今回こそ全レースを走り切り、タイムを伸ばしたいという気持ちで頑張ってきた」と振り返ります。それまでは先輩から受け継いだ車体を改良してきましたが、今回は一から設計を見直し。試行錯誤を重ね、理想の走りを追求してきました。

決勝はトーナメント戦。１回戦ではコースアウトし、脱落の危機を迎えましたが、対戦相手もコースアウト。予選順位での判定となり、「ギリギリの戦い」を制しました。優勝が決まった瞬間は小さくガッツポーズ。喜びをかみしめました。

「先生の指導や先輩たちが積み重ねてきたデータがあってこそ優勝できたと思います」。マイコンカー作りは、ここで一区切り。この春就職し、新たな道へ歩みを進めています。

こだわり抜いたマイコンカーで悲願の全国一に

大会で慎重にマイコンカーをセットする鈴木さん（右）